

鹿の増殖で被害が心配される

岩湧寺のシュウカイドウ

(大阪府河内長野市加賀田)

岩湧寺のシュウカイドウの群生は、圧倒的である。岩湧寺は大阪府河内長野市の山間部にある山寺で、境内といつても全て杉林の斜面。その樹下が全てシュウカイドウで埋め尽くされている。見頃は9月上旬。大阪の近くではあるが、山寺へ続く林道は、車が交差できない程の細い道。アクセスが悪い事から、訪れる人は少ない。

岩湧寺は奈良時代に山伏の始祖である役小角が開基した寺と伝えられ、その後修験者の道場として栄えた山寺である。

谷間に続く細い林道を登ると、林道沿いにシュウカイドウの見事な群生があちこちにあって、岩湧寺のシュウカイドウがどれ程のものなのか、期待が膨らむが、対向車に悪戦苦闘する。寺の下に狭い駐車場が何ヶ所かある。寺の横に駐車スペースがあるが、急坂で交差は不可能との事で、ここで車を止めて登る事とした。

色彩館という売店を兼ねた休憩所の横から参道が続く。下って登ると、参道沿いに圧巻の群生地が見えてくる。震えるような光景とは、まさにこの事である。緩やかな勾配と曲線の参道と、シュウカイドウの群生は、まさに絵になる光景。そして、さらに登ると、絵になる光景が次々と出現する。本堂へ続く石段脇に咲乱れ、多宝塔を背景に咲乱れる。六地蔵や古い石柱周辺、杉の古木の樹下、白花、杉林の上空から差込む陽光。等々、いつまでいても飽きない山寺である。

関西では鹿の食害が多く報告されている。人里離れた山寺である岩湧寺周辺にも鹿は成育しているが、シュウカイドウの茎に毒性があつて食べない。ところが、蕾は毒性が少ないので食べ、花が咲かなくなつたという報告例がある。鹿の個体数が増えれば、やはりどうなるか解らない。自然の驚異は想定外な事が多い。



多宝塔と見事なシュウカイドウ群生

